

2018.2.10.SAT~3.12.MON



吉田遠志 数珠かけの梅

岡太神社・大瀧神社 千三百年大祭記念事業

特別展 和紙の真髄

越前奉書の世界

(その二・近代編)

平成三十年二月十日(土)～三月十二日(月)

毎週火曜日休館

日本の色彩、異国のかおり、

和紙の里で味わう風景木版画の精華

主催 越前市 越前和紙の里 紙の文化博物館
二階展示室

住所 福井県越前市新在家町十一-十二
電話 (0778) 4210016

<http://www.echizenwashi.jp>

開館時間
入館料

午前九時三十分～午後五時

大人三〇〇円、団体(十五名以上)二〇〇円

高校生以下無料

障がい者手帳等をお持ちの方は一五〇円

* 卯立の工芸館との共通料金



越前和紙の里
紙の文化博物館
Museum of Washi and Culture

2018.2.10.SAT~3.12.MON

木版画芸術に不可欠の紙、越前奉書

紙の文化博物館リニューアルを記念し、越前和紙を代表する奉書、の成り立ちと展開を示す特別展覧会の第二弾。また本展覧会は、紙祖神を祀る岡太神社・大瀧神社の1300年大祭を記念して行われるものです。

今回は木版画芸術の精華を紹介いたします。日本が世界に誇る木版画では、越前奉書が最高の用紙とされてきました。江戸時代に華ひらいた浮世絵の伝統をひきついで、わが国では近代以降も木版画の優れた作品が生み出されています。白く厚みがあり、温湿度変化による伸び縮みの少ない越前奉書は、何十回にも及ぶ摺りにも耐え、複雑な色彩や細かい線描表現を可能にしています。

とりわけ風景版画の名品には、濁りの無い色彩、奥行きのある空気層、うつろう光などが見事に表現されています。さらに、「湿り気」や「かおり」まで感じさせるような風景表現を、ぜひ和紙の里でお楽しみください。



吉田遠志 岡太神社



漆原木虫 ヴェニス・セントパテルノ橋

交通のご案内



学芸員によるギャラリートーク

日時：2月17日(土)、3月10日(土) 午後1:30~
会場：紙の文化博物館2階展示室

木版画の摺り実演

日時：2月25日(日) 午前10:30~、午後1:30~
会場：紙の文化博物館別館
講師：アダチ版画研究所

木版画の〈版元〉として有名なアダチ版画の摺師による実演を行います。浮世絵の技法や歴史についての解説つきでご覧いただける貴重な機会です！

対談「岩野市兵衛氏 VS 安達以乍牟氏」

(越前奉書 人間国宝) (アダチ伝統木版画技術保存団団理理事長)

日時：3月3日(土) 午後1:30~
会場：紙の文化博物館別館

職人对職人の真剣勝負!! 奉書ひとすじの人間国宝と、「市兵衛の奉書」と向き合って数十年の版元が、越前和紙の里で木版画と奉書のこれからを語ります。

*いずれの催しも予約不要です

同時企画

会期中、木版画の版木・摺り見本・道具を博物館別館に展示しています。展覧会と合わせてご覧ください。

卯立の工芸館 展示案内

「和紙を愉しむ書籍展」
会期：平成30年2月10日(土)~3月4日(日)

「和紙と押し花アート with ハッ杉千年の森」
会期：平成30年3月10日(土)~3月25日(日)

*紙の文化博物館との共通料金です